



地域国際化協会 連絡協議会の活動

全国五九の都道府県・政令指定都市に設置されている地域国際化協会は、相互連携と情報交換を通して地域レベルの国際化に寄与するため、地域国際化協会連絡協議会(以下、協議会)を設置している(平成二年七月発足、事務局は当協会)。ここでは、協議会の活動を平成一五年度の事業内容を中心に紹介したい。

(財)自治体国際化協会調査部連絡調整課

1 地域国際化協会 職員研修の実施

地域国際化協会の職員を対象に、事業実施のノウハウ習得や直面する課題の検討、情報交換を行うとともに、職員間のネットワークの形成を図ることを目的として実施している。

○国内研修

P R A フォアシリテーター カマル・フイヤル氏を迎え、「P R A (主体的参加型農村開発調査法)とは」をテーマとした講演会及び三つの課題別ワークショップ(参加型開発について・広報戦略を考える・資金調達法)を実施した。

○海外研修

ベトナム及びマレーシアを訪問し、国際協力機構(J I C A)の O D A 活動や、現地に拠点を置く N G O 及び現地の団体をカウンターパートとして活動する N G O を視察し、関係者との意見交換を行った。

2 情報共有化の推進

○地域国際化協会ダイレクトリー作成

各地域国際化協会の組織、主な事業活動を網羅したダイレクトリーを作成し、都道府県・政令指定都市と各地域国際化協会等へ配布するとともに、ホームページに掲載している。

○多言語生活情報の更新

平成一四年度に九言語に翻訳した在住外国人のための生活情報(一般編、すまい編、医療編、多言語相談窓口編)を作成し、ホームページに掲載した。法律・制度の改正等に伴う更新・修正を適宜行っている。(U R L : <http://www.clair.or.jp/tagengo/>)

○メーリングリストによる情報交換

地域国際化協会が構成し、各地域国際化協会の活動状況などの情報交換や地域の課題に対する意見交換などを効率的に行っている。

○多言語情報作成マニュアルと標準訳語集の作成

各地域で行う在住外国人のための多言語情報の翻訳事業を支援するため、留意事項をまとめたマニュアルや標準的な訳語集(全国汎用版)を作成し、各地域国際化協会等へ配布した。

3 地域ブロックへの支援

地域国際化協会は、全国六つのブロックで地域連絡協議会を設置している。協議会は、地域ブロックの活動を支援するため、地域連絡協議会を対象に交付金の交付や有益な全国情報の提供などを行っている。



↑地域国際化協会職員国内研修「講演会」の様子

第2回 国際交流協力実践者全国会議

「新たな“組織”と“わたし”のあり方を創造する」 — 地域社会の発展における国際交流・協力活動の再定義 —

開催日 / 2004年8月28日(土) ~ 29日(日) 会場 / JICA大阪

本会議は、国際交流・協力活動の現状認識を共有することで問題意識を深め、参加実践者の中で顔の見えるネットワークの構築と、日本社会に国際交流・協力活動の意義を広くアピールすることを目的として2003年度から3年計画で開催するものです。2年目の今回は「国際交流協会に求められる実践への方策を具体的に示し、果たすべき役割や相互の連携のあり方、求められる社会基盤について提起する」ことをめざします。国際交流協会のスタッフをはじめ、各地で国際交流・協力活動に携わる皆さんの参加をお待ちしています。

対象：原則として、国際交流協力の実践歴が3年以上の国際交流協会職員または自治体職員、ならびに国際協力機構、国際協力銀行、国際交流基金、自治体国際化協会のスタッフで両日とも参加できる方

定員：200名(多数の場合は地域性を考慮の上抽選)

参加費：15,000円(宿泊費を含む)※会場までの交通費、食費は参加者負担となります。

応募方法：氏名(ふりがな)、性別、連絡先(住所、メールアドレス、TEL)、所属団体(部署)、担当業務内容、勤務年数、国際交流協力活動歴、参加の動機(200字以内)、希望する分科会(第3希望まで)を明記の上FAXまたはメール(zenkokukaigi@interpeople.or.jp)かホームページ(<http://www.interpeople.or.jp/zenkokukaigi.html>)から申し込んでください。*氏名、団体名、参加の動機は当日配付用の名簿に掲載されます。

締め切り：7月31日(参加の決定通知等に関するご連絡は原則メールで行います)

本会議の特徴

- (1) 国際交流・協力活動の重要性や問題意識を共有した実践者(本会議実行委員)が自発的に集まり、会議の企画を練り上げ当日までの運営を行っています。同様に各団体の実践者も自発的に参加する会議とした点で、これまでに前例がない会議と言えます。実践者同士がホンネで議論できるような場を設定し、顔の見える全国的なネットワーク構築をめざします。
- (2) 大局的な見地から国際交流・協力活動の現状と役割について参加者が理解・認識すると同時に、個別具体的な活動例の検証を通して、未来に向けた新たな発想を磨き・共有する中から、国際交流・協力の専門職としてのスキルアップをめざします。
- (3) 政府レベルで国際交流・協力活動に関与する4団体(国際協力機構、国際協力銀行、国際交流基金、自治体国際化協会)の協力を得て実施される会議は初めてです。4団体のスタッフとの率直な意見交換を通して、政府レベルと草の根レベルの連携協力の可能性を探ります。

全国会議日程

8月28日(土)

9:00 ~ 9:30 受付
9:30 ~ 9:40 開会(開会あいさつ、プログラム紹介)
9:40 ~ 12:00 オープニングディスカッション / 「地域の国際交流協会の役割を再度考えてみよう」

内容: 国際交流協会が存立する自治体の規模ごとに「道府県レベル」「政令指定都市・県庁所在地の都市・中核市レベル」「市町村レベル」の3段階に分け、それぞれの段階に応じて、地域社会における国際交流協会の「立ち位置」や期待される役割について参加者全員で議論します。

- ① 道府県レベル
- ② 政令指定都市・県庁所在地の都市・中核市レベル
- ③ 市町村レベル

12:00 ~ 13:00 昼食
13:30 ~ 19:00 分科会(1)(第1~第3希望まで選択)
*具体的なテーマや事業分野を切り口に、協会の役割や連携のあり方などを検証し、必要とされる方策や求められる社会基盤について考えます。



第1分科会 「あなたの地域の連携・協働は的確ですか!」

各協会や各職員の連携・協働に対する問題点や、連携・協働の過程で何が苦労した点か、何が失敗した点か、何が絆を深めたのか、行政との関連はどうだったのか、協働の場合は単独で実施した場合と比べて、何がどうよくなったのかを事例を参考にしながら検証します。連携・協働に必要な能力を再確認するとともに、能力向上の方法として、行政の説得方法や全国的なネットワークから得られるものを検討します。

事例:「あーすフェスタかながわ」「大阪府帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業」

第2分科会 「国際協力分野で協会は何ができるのか?」

国際協力機構ならびに国際協力銀行と自治体との連携・協働の事例から、国際協力分野での国際交流協会の存在意義を改めて検証し、各地域の国際交流協会が果たしている役割や地域の国際化におけるコーディネーターとして期待されること、協会がこれらの政府系国際協力機関とどのような関係を築き、どのように活用していけばよいのか、などについて考えます。

事例:「バングラデシュ参加型地方行政研究プログラム」「タイ「道の駅」立地可能調査等」

第3分科会 「国際理解教育における協会の役割」

国際理解教育の大切さを訴えつつ、国際理解教育の事例を通して国際交流協会が地域社会に有用な存在になるためには、どのような役割を担い、どのような活動を進め、自らどのような組織を作り上げればよいのかを、国際理解教育の分野における活動を切り口に事例やワークショップ、ディスカッションを通して考えます。

事例:「協働相手から見える国際交流協会の姿とは?」(財)和歌山県国際交流協会

第4分科会 「開かれた国際交流協会の運営をめざして」

国際交流協会が地域社会に有用な存在と認められるためには、ボランティア(市民)を活動の担い手として、積極的な参加や意志が反映される仕組みが求められます。また一方で、今まで協会が蓄積してきた専門性を運営に生かすためには、協会の専門職員であるプロパー職員の活性化や登用が期待されます。本分科会では、これらの課題を解決するための方策を考えることを通して、協会が地域社会に有用な存在になるためにはどうすればよいのかを検討します。

事例:「豊田市国際交流協会におけるボランティア参加」など

第5分科会 「どうして協会は『外国人支援事業』をするのか」

どうして「協会」は「外国人支援」事業をするのか、「外国人支援」がどう「地域」と結びついていくのか。その事業がどのように共感を得ながら実践していけるのか。本分科会では、具体的な「外国人支援」事業を切り口に、参加者が会議終了後直接「実践」に結びつけられるヒントを獲得するとともに「理念・目的」と「方法論」についても議論を深め、協会が地域社会にとって有用な存在になるためにどうすればよいのかも検討します。

事例:「外国人への相談業務・情報事業」「外国人集住地域・浜松の変化」など

19:00~21:30 夕食、親睦会・交流会

親睦・交流会では、地域性や、参加動機などの内容をもとにグループ分けを行い、参加者同士のネットワークづくりにつなげます。

8月29日(日)

- 8:00~ 9:00 朝食
- 9:00~10:30 分科会(2)
各分科会のまとめ、発表のための資料作成
- 10:30~12:00 全体会(1)
各分科会からの発表および質疑
- 12:00~13:00 昼食
- 13:00~14:30 クロージングディスカッション
「国際交流・協力活動への期待と展望」
初日のオープニングディスカッションのグループに戻って2日間の会議を振り返り、今後の取り組みを話し合います。
- 14:30~16:00 全体会(2)
第2回会議の総括と今後へ向けた提案
- 16:00 閉会、自由解散



第2回国際交流・協力実践者全国会議

実行委員: 有田典代(委員長)、阿部一郎(企画委員長)、田村太郎(事務局長)、
小川忠、熊岡路矢、杉澤経子、丹下厚史、西村明夫、毛受敏浩、山西優二

事務局: (特活) 関西国際交流団体協議会内(担当: 河合) / mail: zenkokukaigi@interpeople.or.jp

TEL: 06-4395-1124 / FAX: 06-4395-1125 / URL: <http://www.interpeople.or.jp/zenkokukaigi.html>

お問合せは、第2回国際交流・協力実践者全国会議 実行委員会事務局または各実行委員まで

主催 国際交流・協力実践者全国会議 実行委員会

協力 国際協力機構、国際協力銀行、国際交流基金、自治体国際化協会・地域国際化協会連絡協議会 (五十音順)